



和歌山県に真に必要な道路整備への提言

～ 中期計画策定に向けて ～

平成19年8月

和歌山県道路懇談会

和歌山県の特徴と道路整備状況

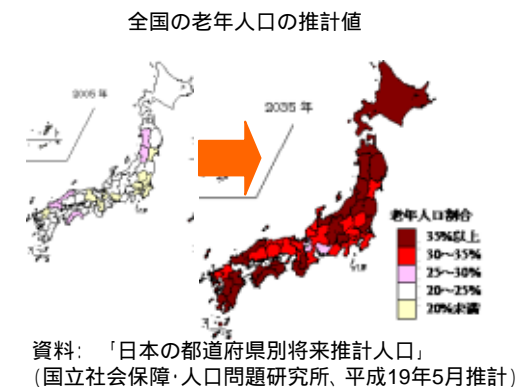
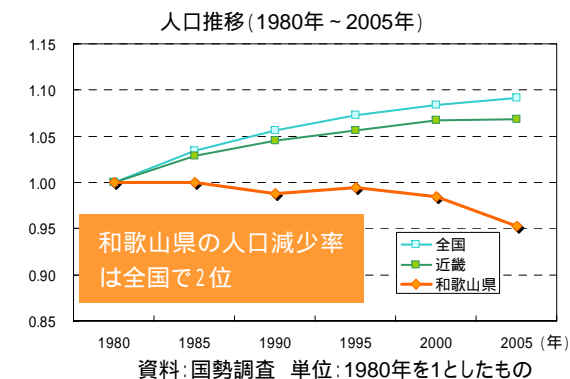
国際的に高い価値と魅力をもつ多彩な観光資源

- 世界遺産をはじめとする歴史文化資源、森林・海洋の自然資源、豊富な温泉など多様な観光資源が遍在。
- 観光客数は年間3,000万人を超過。
- 紀伊山地の世界遺産登録後から外国人観光客が大幅に増加。



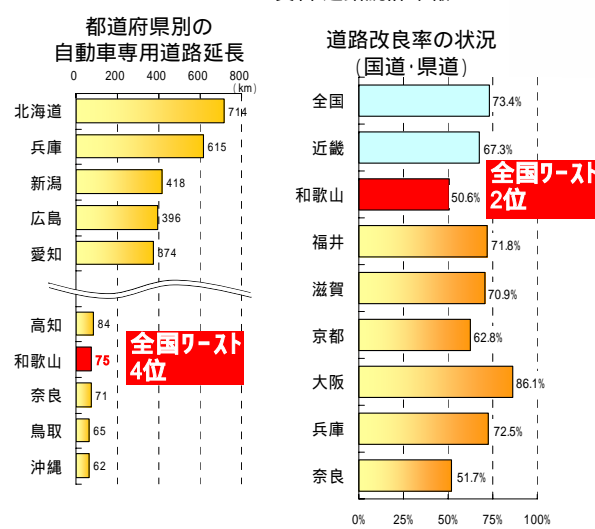
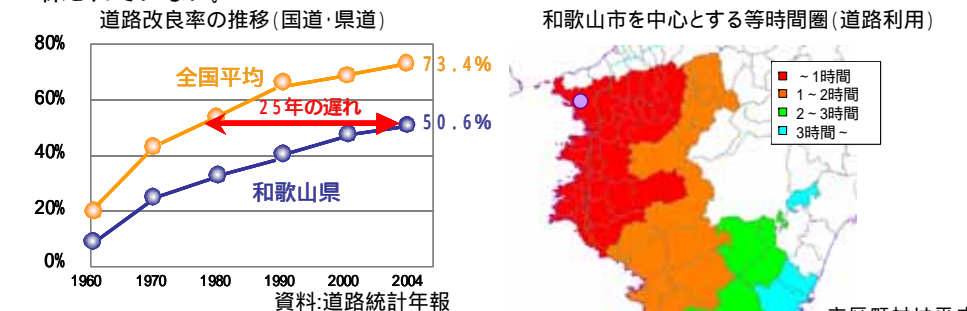
急速に進む少子高齢化

- 全国有数の人口減少地域となっており、今後も著しい人口減少と高齢化を予想。



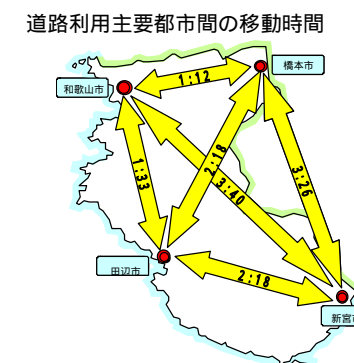
全国水準から大幅に遅れる道路整備

- 自動車専用道路延長や道路改良率は全国平均を大幅に下回る。
- 県南部では、県庁所在地和歌山市への道路利用による移動時間がおよそ4時間に上る。
- 道路整備不足のため渋滞が頻発しており、物流面で重要視されている定時性が確保されていない。



災害に脆弱な道路ネットワーク

- 土砂災害や越波、津波などの自然災害で寸断する可能性の高い区間が多く存在。



グローバルな交流と和歌山スタ

近畿自動車道紀勢線 ～自立した地域づくりの第一歩～

モータリゼーション時代に取り残された和歌山

かつては熊野古道により栄えた



資料：紀伊国名所図会後編巻之二

江戸時代は寄港地として栄えた



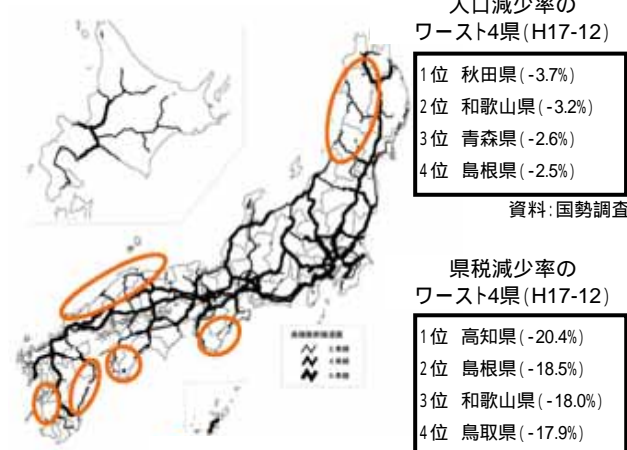
資料：国土交通省近畿地方整備局

鉄道は昭和34年に繋がった



資料：国土数値情報(国土交通省 国土計画局)

高速道路時代は未だ空白地で
遅れが取り戻せなくなった



資料：社会資本整備審議会 道路分科会 基本政策部会

人が暮らすための平等な権利の保障

～人が暮らすためのナショナルミニマムとして～
～医療・教育機会の平等～

経済活動の基本的なチャンスの保障

～企業立地におけるチャンスの平等～
～ポテンシャルを活かした観光や農林水産業の発展～
～高速道路渋滞区間の解消による本来機能の発揮～

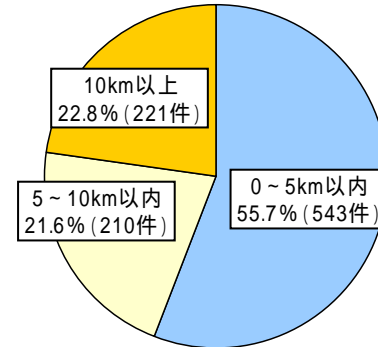
大規模地震など自然災害への備え

～東南海・南海地震や風水害時の緊急輸送道路の確保～

新規産業の立地には高速道路が不可欠

□企業の立地には交通アクセスの容易性が深く関与。

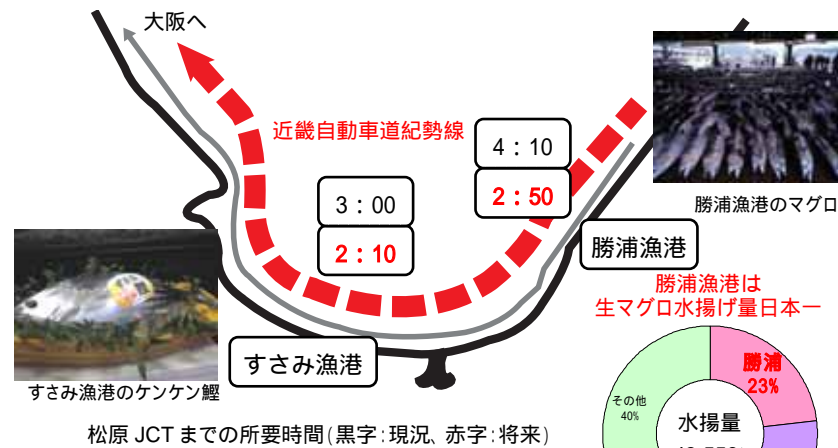
新規工場立地のICからの距離別件数



資料：国土交通省道路局

水産物の輸送時間短縮

□日本一の水揚げ高を誇る勝浦漁港の生マグロなど紀南の新鮮な魚を、京阪神・東京へより早く輸送。



資料：水産物流統計年報2005



暫定2車線のため大渋滞が発生

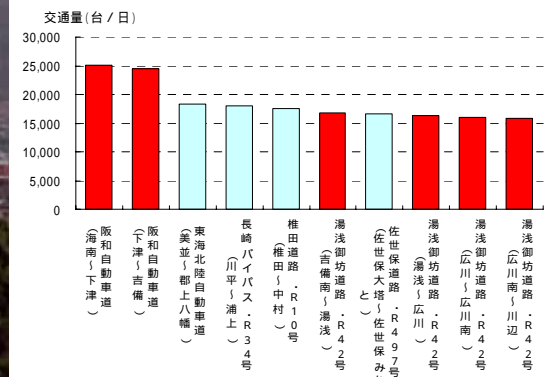
□紀勢線の海南から御坊にかけては、全国の高速度道路の暫定2車線区間でトップクラスの交通量。また対面交通のため事故が多発。
□物流輸送時間の不安定さによる不経済、移動に長時間を要することによる観光客のストレスを誘発。

年回80回を超える渋滞
上り線では西日本 Worst 1位の渋滞長を記録
(H18.8.13 吉備JCT. C27km)

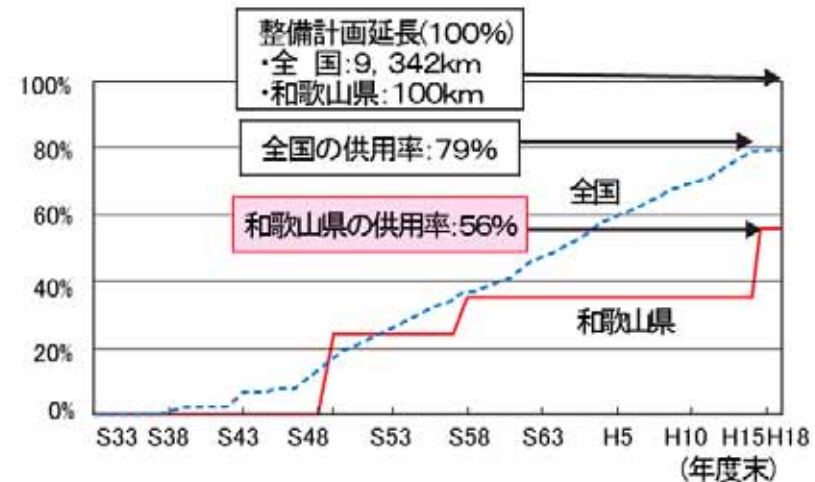


(吉備IC付近)

全国の高速度道路 暫定2車線区間(全243区間中)で和歌山県内の6区間がトップ10位内にランクイン



全国で東・中・西日本高速道路株式会社が管理する高速度道路の暫定2車線区間を抜粋



資料：高速道路便覧2006

イ ル に よ る 戦 略 的 道 路 整 備

京奈和自動車道
～近畿の交流・連携を促進～

関西経済圏の活性化

～関西大環状道路及び放射状道路の形成により関西都市圏を拡大～

近畿各地域の個性を活かした広域連携

～癒しと心の安らぎにより近畿の魅力を高める～
～特産物の輸出など関西国際空港を活かしたアジアとの交流促進～

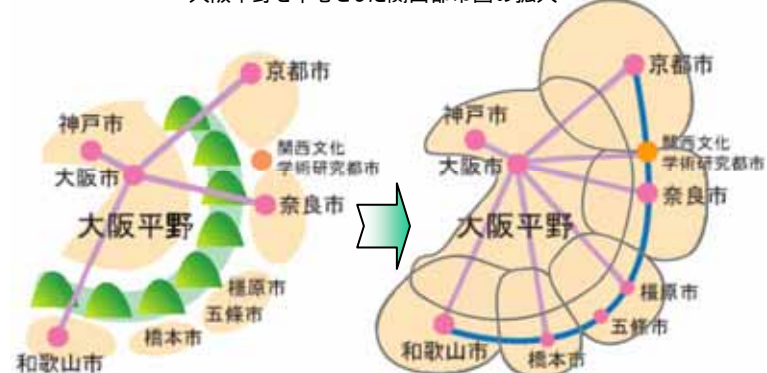
世界遺産を活かした広域観光ルートの形成

～京都から観光客を引き込む、京都 奈良 和歌山ルートの強化～

関西都市圏の拡大

- 関西都市圏は、大阪平野の狭さのため、後背圏の広がりを欠く。
- 関西大環状道路を形成する京奈和自動車道と放射状道路を形成する府県間道路の整備により、関西都市圏が拡大し、関西の経済が活性化。

大阪平野を中心とした関西都市圏の拡大

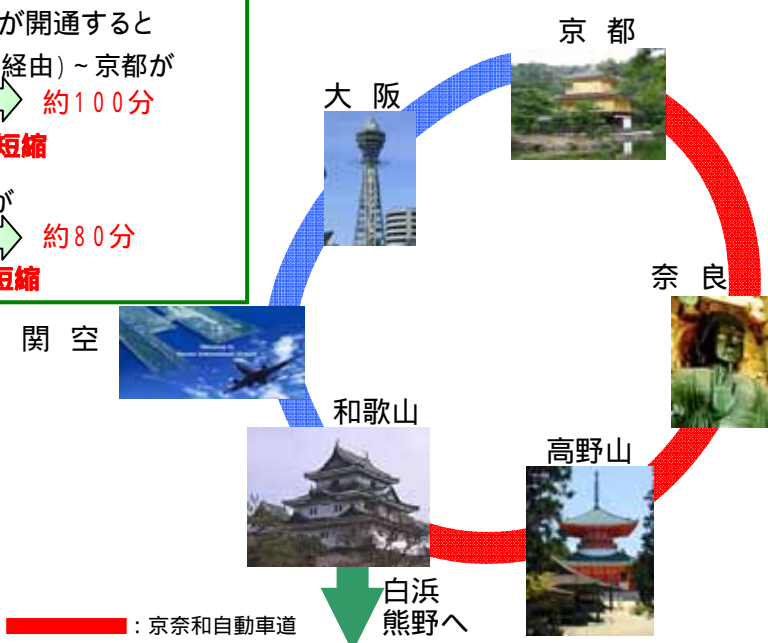


世界遺産を活かした新たな観光ルートの形成

- 高野山などの世界遺産と京都、奈良とを結ぶ新たな観光ルートを形成。

京奈和自動車道が開通すると
和歌山～(奈良経由)～京都が
約270分 → 約100分
170分短縮

関空～高野山が
約100分 → 約80分
20分短縮



高速道路を補完し県内各地域へ連絡する幹線道路
～概ね10年でネットワーク化～

限られた財源を踏まえた集中投資

～「つながってこそ『道』」の理念に基づく『1つ1つ完成主義』～

高速道路と合わせて効果を発揮する骨格道路

～高速道路を最大限活用した地域の自立と競争力強化～

高速道路と合わせて
県内の一体的発展に寄与する
内陸部骨格道路(×軸ネットワーク)

京奈和自動車道と合わせて
近畿の一体的発展に寄与する
府県間道路

概ね10年でネットワーク化

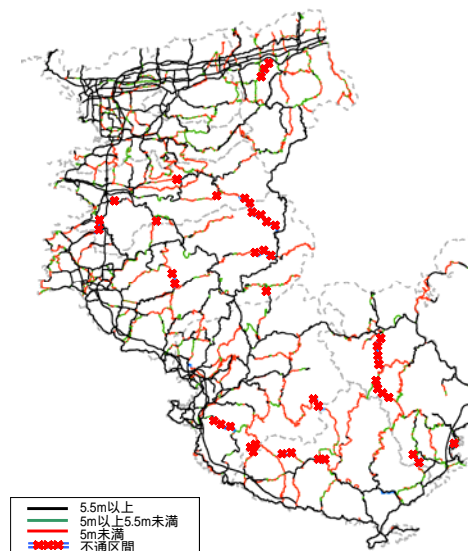


幹線道路以外の生活道路
～県民にとって真に必要な道路をメリハリをつけて整備～

基本的生活に不可欠な道路整備

～県民の不便で不安な生活の解消～

つながっていない未整備の道路はまだある



コスト縮減しても50年以上かかる

1.5車線の整備を最大限活用

真に必要な道路を選択し集中して
スピードアップ整備

生活圏30分圏域の拡大に資する道路のうち整備効果の高い道路

高速道路ICから60分圏域の拡大に資する道路のうち整備効果の高い道路

防災上・交通安全上必要不可欠な道路

あと少しの整備で効果のでる道路

概ね10年で完成

時間圏域と道路整備のイメージ図



あと少しの整備のイメージ図



その他の戦略的道路整備

戦略的な道路施設の維持管理

～予防保全による長寿命化を図るなどトータルコストを考えた維持管理～

多彩な地域資源を活かした道の駅・日本風景街道の整備・充実

～道路利用者への情報提供・観光などの地域振興と雇用の創出～

和歌山県道路懇談会の理念

和歌山県道路懇談会では、人口減少、高齢化などの全国的な課題に加え、道路整備が著しく遅れた和歌山県において、地域の生活・産業の現状や、地方部が未来の国づくりに対して果たす役割など幅広い観点から、真に必要な道路整備のあり方を考えて参りました。そして、この度、その成果をここに提言としてとりまとめることといたしました。

この提言は、和歌山県の県民にとって重要な願いを表しているとともに、同様の課題を抱える多くの地域にとっても同じように切実な課題を表していると感じます。我が国の道路整備に携わる方々が地方部の道路の役割と重要性を再認識する手助けになることを願っています。

道路整備を考える視点

我が国が直面する国土政策課題の解決に資する地域再生

人生を切り開く機会を与える道路は、ナショナルミニマム保障の根本

如何なる地域に住もうとも勇気と希望を持って、自らの人生を切り開いていく機会とは与えられるべきであり、また日本国民として最低限の医療、教育を保障される権利がある。今や道路は、このために必要な最大の手段であり、ナショナルミニマムを保障する根本と捉えるべきである。

地方の経済を放置して日本の未来はない

道路整備の遅れが住む場所としての魅力を損なっていることに加え、産業立地や付加価値向上が進まない原因ともなり、魅力的な職場の不足、若年層を中心とする人口流出に繋がるといった悪循環に陥っている。地方経済の崩壊は、我が国の生産機能や消費機能の低下など国の経済力を悪化させる懸念がある。

国土保全、CO2削減、食糧供給など地方特有の機能を守る

集落崩壊など地方部の極度の活力低下は、我が国が直面する重要課題の克服を大きく後退させる。農地や森林の放棄は、国土の荒廃に直結し、森林の二酸化炭素吸収・貯蔵機能を低下させるとともに、世界的な食糧需要逼迫が予想されるなかで食糧供給地としての機能が重要となっている。加えて、国土軸から離れた地域の道路が持つ、広域的迂回路としての機能は、災害に強い国土形成に果たす役割も大きい。

関西都市圏の拡大により東京一極集中構造を是正する

広域交通網の整備による関西都市圏の拡大は、農林水産物やエネルギーの供給、モノづくり機能における連携を通じた関西経済圏の再生を促し、東京一極集中構造の是正に繋がる。

グローバルな交流と地方の役割

世界遺産など世界に通じる資源を活かし国際観光を推進する

高野山・熊野などに代表される世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」、県内に広く分布する温泉、学術的価値も高い森林、海洋の豊かな自然など多様な資源を活かし、アジア有数の国際観光地である京都、世界遺産を共有する奈良・三重等との連携により、国際観光の戦略的な推進に資する。

関西国際空港への近接性を活かした輸出産業が進展する

東アジアにおける経済・社会のグローバルな交流が拡大するなかで、中国をはじめとするこれらの地域における購買力の向上が予想される。このため24時間空港・関西国際空港への近接性を活かし連携を強化することにより、果実や海産物等の「食」資源、林産資源をはじめとする地域資源や新たな商品開発がグローバル市場へ進出し、オンリーワン企業の育成や輸出産業が進展する。

癒し空間を提供し関西圏の総合力を向上する

温泉、森林・海の自然、世界遺産をはじめとする歴史・文化を活かし、交流の円滑化により、観光や多地域居住の地として、大阪など大都市に癒し空間を提供し、グローバル時代における住み・働き・憩う場としての関西圏の総合力を高める。

和歌山スタイルによる戦略的道路整備

重点的投資と“1つ1つ完成主義”で

効果の早期発現を目指す

“つながってこそ道”の理念に基づく“1つ1つ完成主義”により、完成目標を明確にし、整備のスピードアップ、効果の早期発現を目指すべきである。

“選択と集中”により効果的・効率的な道路整備を進める

投資余力に限られる中、高速道路などの既存ストックの有効活用などとともに、新しい道路整備も“選択と集中”により効果的・効率的に進める必要がある。

地域の十分な理解・納得がえられるよう

施策の透明性を高める

道路整備の評価基準は、地域に係わる人々に共有・理解され、高い透明性を有するべきことから、地域の10年、20年後の具体的な姿と、その実現に資する道路の役割と整備効果を、定性的、定量的に評価し、公表する必要がある。



中野 幸生 委員
中野P株式会社社長

世界へモノを売る、最低でも全国でモノを売る企業が利益を出す。広域物流が重要。生活道路にドライバーが入る所もある。府県間道路の大阪側が非常に悪い。府県の連携が必要。吉備では高速道路整備にあわせて中小企業が進出した。働

植樹や分離帯の改善で安全性を向上
場所があれば東京や大阪に出る必要のない人も多く、紀伊半島を一周する高速道路の早期整備が大事。

世界へモノを売る時代に広域物流が重要

高速道路整備が企業立地、若者定着を促進

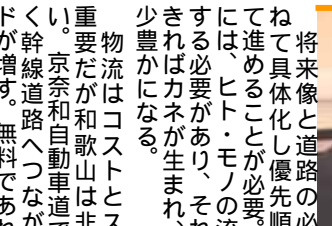


多田 稔子 委員
田辺観光協会会長

つながってこそ「道」。近畿だけでなく、紀伊半島全体のネットワークを考えた上の道路整備が基本ではないか。

住民と協働し世界遺産の地にふさわしい道路づくりを

関西経済圏の繁栄で東京一極集中を是正



高田 寛 委員
日進化学株式会社代表取締役社長

将来像と道路の必要性を重ねて具象化し優先順位をつけて進めることが必要。県の発展には、ヒト・モノの流れを創出する必要がある。それが達成できれば力になる。県政も多少豊かになる。

ヒト・モノの流れを生む道路を優先的に

京奈和道がモノの流れを変える

紀勢線大渋滞に巻き込まれると二度目の訪問はない



伊藤 元重 委員
東京大学大学院経済学研究科教授

21世紀の地方経済を日本としてどう考えるか。CO2削減、多様性、国土一極集中のリスクを考えると、地域を大事にしないといけない。そのためには道路が不可欠。

グローバル社会の中で道路が重要

戦略的な道路政策

和歌山スタイルの確立を

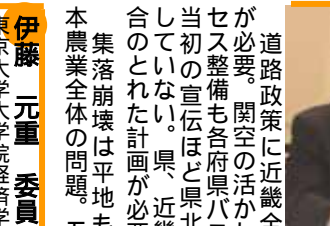


石橋 芳春 委員
JA紀の里代表理事組合長

道路政策に近畿全体の方針が必要。関空の活かし方、アクセル整備も各府県バラバラで、当初の宣伝ほど県北部も発展していない。県、近畿、国で整合のとれた計画が必要。

集落再生のモデル地区の設定を

高速道路を活かす幹線道路が必要



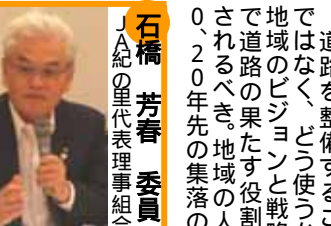
尾崎 征朗 委員
尾崎造酒株式会社代表取締役

京阪神から遠い県南部ほど交通事情が悪い。天災の可能性が高いのに、迂回する道路すらない。災害や医療も非常に不利で、国民が生きていく上での基本的な権利がない。早急に紀勢線の紀伊半島全通化と五條新宮道路の整備が必要。

国民の基本的権利を守る道路を

高野山と熊野をつなげば観光が発展

若者の交流が新しいアイデアを生む



木村 陽子 委員
総務省地方財政審議会委員

選択と集中が大切。まず、基幹道路をネットワークとして繋げ、そこから分かれるものは、ちよっと時間はかかるかもしれないという計画の見直しが必要。

災害時の日本の安全保障を確保する

中国など世界をターゲットにした戦略を

緊急時が重要



西本 和明 委員
和歌山県花き生産協会会長

紀伊半島一周の高速道路には何の理屈も要らない。流通、観光、防災、集落崩壊、全ての面における和歌山の基盤となる。

地権者の協力を得て集中的投資を

紀伊半島一周の高速道路に理屈は要らない

高速道路が産品の鮮度、付加価値を高める



第一回和歌山県道路懇談会



第二回和歌山県道路懇談会



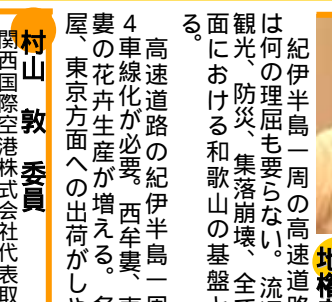
村山 敦 委員
関西国際空港株式会社代表取締役社長

長く美しい海岸線、豊かな山、温泉、世界遺産があり、紀伊半島一周道路ができれば、関西空港・中部空港がアジアで話題の観光ゴールデンルートになる。カナダではクルスマスオレソジとして大人気の蜜柑などの果物や特産品も関西空港から上海や北京へ飛ばせば、国内より高値で売れるだろう。効率性重視の議論に対して、地域工コと言われない論理展

優先順位、完成時期を明確に

まちづくり整備も拠点に集約

関空と中部空港を結びアジア観光のゴールデンルートに



齊藤 慎 委員
大阪大学大学院経済学研究科教授

和歌山は他地域より道路改善のスピードが随分遅い。日本全体の中で関西が、特に和歌山が冷遇されている印象がある。資源に限られる中、どういった地域づくりを進めたいのかという観点なしに道路整備を考えるのは無理。

関西は道路改善のスピードが遅い

道路整備には地域づくりの観点が重要

既存ストックを活かすネットワーク形成



尾崎 陽子 委員
尾崎造酒株式会社代表取締役

地域高規格道路化を提案したい。高野山と熊野を短時間で往來できれば観光産業が発展し、物流や災害時にも有効。

道路があれば若者同士の交流が生まれ、新しいアイデアを生かして、周辺の取り残された集落も含めて、まちをどうつなごうかというところにつながる。

これまでにある社会資本ストックをどう活用するかという視点も大変重要。すさみ、那智浦間、新宮、熊野間を優先的課題とし、ネットワーク空白箇所解消を訴えるべき。